

様式第1 (第3条関係)

該当する部分以外は二重線で消す。

特定施設設置(変更)許可申請書

実際に申請書を提出する年月日を記載

年 月 日

尼崎市長 殿

【法人の場合】主たる事務所の所在地、名称及び代表者名を記載。
工場長等が届出者となる場合は、法人の代表者から権限を委任されていることを示す委任状を添付
【個人の場合】事業者の氏名、住所を記載

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇市〇〇町〇-〇-〇
申請人 □□株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

設置等しようとする特定施設の水濁法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2の番号及び名称を記載

瀬戸内海環境保全特別措置法第5条第1項(第8条第1項)の規定により、特定施設の設置(構造等の変更)の許可を受けたいので、次のとおり申請します。

工場又は事業場の名称	□□□□株式会社 △△事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〒〇-〇〇 〇〇市△△1-1-1	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	63号ホ 廃ガス洗浄装置 65号 酸又はアルカリによる 表面処理施設	※施設番号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考 特定施設を設置等しようとする工場・事業場の名称、住所を記載 【設置許可申請の場合】 別紙(申請事項内容及び1~7)について記載し、汚水処理施設等、特定施設の設置に伴い変更のある場合は、二段書きとし、変更前は上段に赤字で記載 【変更許可の場合】 別紙1~7については、変更事項のない別紙は省略することが出来る。なお、変更した部分については、二段書きとし変更前は上段に赤字で記載	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排出水の量(排水系統別の量を含む。)	別紙4及び別紙5のとおり。		
△排出水の汚染状態(排水系統別の汚染状態を含む。)			
△用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙7のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令(昭和46年政令第188号)別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令(平成11年政令第433号)別表第2のいずれに該当するか、並びに当該別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙7を提出することを要しない。
 - 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 4 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 5 変更申請の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 6 申請書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

届出・申請事項内容

事業場名 □□株式会社

担当者職氏名 ○○課 □□ □□

(電話) ○○-○○○-○○○○

申請概要及び理由

※記載する内容が多くなる時は別葉に記載してください。

記載例

当社は○○を生産していますが、増産のため、廃ガス洗浄施設 2 基 (63 号ホ) 及び酸又はアルカリによる表面処理施設 1 基 (65 号) を新たに設置する。

特定施設の設置に伴い汚水等の量は増加するが、洗浄排水処理施設で処理した後、循環再利用するため、排出水の汚染状態及び量に増減はない。

既許可・届出記載事項の記載事項から変更等がある別紙については有に、変更等がない別紙については無に○印をつける。

既許可又は届出記載事項の変更等の状況		別紙の添付状況	廃止予定の特定施設 (号番号・基数・廃止予定年月日)
特定施設の構造	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙 1	
特定施設の使用方法	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙 2	
汚水等の処理の方法	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙 3	汚染状態 _____ 減・ <input checked="" type="radio"/> 増 排出水量 _____ 減・ <input checked="" type="radio"/> 増
排出水の汚染状態及び量	<input checked="" type="radio"/> 無・有	別紙 4	(その理由)
排出水の排水系統別の汚染状態及び量	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙 5	廃ガス洗浄施設からの廃液は、全量を産廃処理 酸又はアルカリによる表面処理施設からの汚水は、 洗浄施設排水処理装置で処理後、増加分を循環再利用する。
用水及び排水の系統	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙 6	
特定施設の設備	無・ <input checked="" type="radio"/>	別紙 7	

添付図面内訳	添付の状況	
工場付近見取図(主要河川等への放流経路を含む)	別紙 1 関係	別図 1
工場内の配置図(主要な施設の配置図を含む)	別紙 2 関係	別図 2
特定施設の構造図(特定施設に関連する主要機械・主要装置の配置図を含む)	別紙 1 関係 別紙 7 関係	別図 3・4
施設の操業系統図 (フローシート)	別紙 2 関係	別図 5
工場内排水経路図 (排水口の位置図を含む)	別紙 3 関係	別図 2
汚水処理施設の構造図	別紙 3 関係	別図 6
汚水処理施設の処理系統図 (フローシート)	別紙 3 関係	別図 7

特定施設の構造

本例では該当しないが、「変更許可申請」・「変更届」の場合、変更前後で変わりのない場合は、「変更なし」と記載

「変更なし」

施設の工場・事業場内の番号、名称を記載

工場又は事業場における施設番号	No. 2、No. 3	No. 4
特定施設番号及び名称 水濁法施行令別表第 1 又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第 2 の番号及び名称を記載	63号ホ 廃ガス洗浄施設	65号 酸又はアルカリによる表面処理施設
型 式 施設の型式、メーカー名を記載	〇〇社製〇〇型	〇〇社製
構 造 施設の構造材料、材質を記載し、構造図を添付	材質：FRP 構造図：別図 3-1 のとおり	材質：ステンレス製 構造図：別図 4-1 のとおり
主要寸法 施設の寸法を記載し、構造図を添付	L W H 〇m×〇m×〇m×2 基 構造図：別図 3-1 のとおり	L W H 〇m×〇m×〇m 構造図：別図 4-1 のとおり
能 力 施設の公称最大能力を記載	〇Nm ³ /分・基	〇〇製品 △△個/日
配 置 特定施設使用届の際、政令改正時点ですでにその特定施設を設置済の場合に記載	工場棟 1 階 別図 2-1 のとおり	工場棟 1 階 別図 2-2 のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	許可後	許可後
工事完成予定年月日	着手後 3 月	着手後 3 月
使用開始予定年月日	完成後	完成後
その他参考となるべき事項	床面：コンクリート(厚さ〇mm)及び樹脂コーティング 周囲：防液堤(コンクリート(厚さ〇mm)及び樹脂コーティング、容量〇m ³) (別図 3-2 のとおり)	
	有害物質を製造、使用する施設については、流出、地下浸透防止対策について記載	

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

「変更許可申請」・「変更届」において、変更前後で変わりのない場合は、「変更なし」と記載

「変更なし」

工場又は事業場における施設番号	No. 2、No. 3		No. 4		
特定施設番号及び名称	63号ホ 廃ガス洗浄施設		65号 酸又はアルカリ表面処理施設		
設置場所	別図2-1のとおり		別図2-2のとおり		
操業の系統	別図5のとおり		別図5のとおり		
使用時間間隔	8:00~18:00		8:00~18:00		
1日当たりの使用時間	10時間		10時間		
使用の季節的変動	なし		なし		
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	① 塗料の分解剤 商品名：〇〇 △L 〇%水溶液で使用 ② ガス発生源：水溶性塗料 〇L		①処理対象物：〇〇 △個 ②〇%苛性ソーダ約〇kgを〇%水溶液で使用		
施設を含む作業工程において使用する原材料の種類、使用方法及び1日当たりの使用量を記載 製品名を記載する場合は、SDS（安全データシート）を添付					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	10~11	10~13	9~12	9~12
	BOD (mg/l)	1,000	1,500	15	25
	COD (mg/l)	2,000	3,000	30	60
	SS (mg/l)	3,000	5,000	70	100
	n-ヘキサン抽出物含有量 (mg/l)	5	7	5	10
	N (mg/l)	10	20	5	10
	P (mg/l)	0.1	0.2	0.1	0.2
	Pb (mg/l)	5	10	5	10
施設から排出される汚水等の1日の通常量及び最大量を記載					
汚水等の量 (m ³ /日)	通常 0	最大 2	通常 20	最大 25	
その他参考となるべき事項	6ヶ月に1回液の更新を行い廃液は産業廃棄物処理業者に委託し焼却処理する		濃厚廃液は、別途産業廃棄物処理業者に委託する。記載の水量、水質は希薄汚水のもので用水は全量処理水を再利用する。		
産廃処理する場合等に記載					

備考 施設から排出される汚水の水質について記載
 種類・項目は、排水基準が定められている項目のうち原材料等より排出されるおそれがあるものを記載
 汚水等の汚染状態は、汚水の処理前の水質について、操業状態等を考慮し通常と最大の計画値を記載
 瀬戸内海地域の通常 50 m³/日以上以上の工場は、T-N(窒素)・T-P(りん)を必ず記載
 「変更許可申請」・「変更届」の場合においては、変更のある箇所を二段書きにし、変更前は上段に赤字で記載し、下段に変更後を記載

変更のある場合は、変更のある箇所のみ二段書きとし、上段は赤字で「設置(変更)前」、下段には「設置(変更)後」の状況を記載

汚水等の処理の方法

上段：変更前
下段：変更後

特定施設使用届の際、政令改正時点ですでにその処理施設を設置済の場合に記載

工場又は事業場における施設番号	洗浄排水処理施設								
処理施設の設置場所	別図2のとおり								
設置年月日	年	月	日	年	月	日			
工事着手予定年月日	既設				年	月	日		
工事完成予定年月日	既設				年	月	日		
使用開始予定年月日	許可後				年	月	日		
種類及び型式	〇〇社製 △△型				処理施設の型式、メーカー名を記載				
構造	材質：鋼+塩化ビニルライニング 構造図：別図6のとおり				処理施設の材質を記載し、構造図を添付				
主要寸法	〇m×〇m×〇m				処理施設の寸法を記載				
能力	〇m ³ /日				処理施設の1日又は1時間で処理できる水量を記載				
処理の方式	中和・凝集沈殿・ろ過				処理の具体的な方法を記載				
処理の系統	別図7のとおり				処理工程に関するフローシートを添付のとおり				
集水及び導水の方法	別図2のとおり				処理施設までの集水導水方法を記載した図面を添付				
使用時間間隔	8:00~20:00				処理施設の1日のうちの使用時間帯を記載				
1日当たりの使用時間	12時間				処理施設の1日当たりの使用時間を記載				
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	〇%硫酸△kg 凝集剤 硫酸バンド▲kg				処理施設で使用する消耗資材の1日当たりの用途別使用量を記載				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	9~12	6~8	1~14	5.8~8.6				
	BOD (mg/l)	15	10	25	10				
	COD (mg/l)	30	15	60	20				
	SS (mg/l)	70	20	100	30				
	n-ヘキサン抽出物含有量 (mg/l)	5	1	7	2				
	N (mg/l)	5	5	10	10				
	P (mg/l)	0.1	0.05	0.2	0.1				
Pb (mg/l)	5	0.01	10	0.01					
量 (m ³ /日)	15	15	20	20					
	35	35	45	45					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	脱水汚泥□t ((産廃として業者に処理を委託するとする。))				残渣の種類毎に記載 産廃処理する場合は、その旨記載				
排出水の排出方法	別図 (1、2) のとおり				排水経路、排水口の位置を明示した図面を添付。 排水先も記載				
その他参考となるべき事項	変更後は処理水の一部を工程で再利用								

特定施設からの汚水等の汚染状態(別紙 2)と同一項目を記載
処理前と処理後の水質については、合理的な根拠のある数値を記載
1. 文献値
2. テストプラントでの試験値
3. 同業種、同施設の実績値等

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙 4

排水口の名称、番号を記載
雨水排水口を含め全ての排水口を記載

変更のある場合は、変更のある箇所のみ二段書きとし、上段は赤字で「設置(変更)前」、下段には「設置(変更)後」の状況を記載

排水水の汚染状態及び量

「変更なし」

工場又は事業場における施設番号		排水口No. 1		排水口No. 2		排水口No. 3～5		
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	pH	6～8	5.8～8.6	6～8	5.8～8.6	雨水専用排水口		
	BOD (mg/l)	12	30	20	30			
	COD (mg/l)	20	60	30	40			
	SS (mg/l)	25	70	50	70			
	n-ヘキサン抽出物含有量 (mg/l)	1	2	—	—			
	N (mg/l)	12	60	40	60			
	P (mg/l)	0.9	4	4	6			
	Pb (mg/l)	<0.005	<0.005	—	—			
	・排水水の水質について通常量及び最大量を排水口ごとに記載 ・排水基準が定められている項目のうち、排水口から排出されるものや排出されるおそれがあるものを全て記載 特定施設及び特定施設以外で使用等している物質や副生成する物質に注意 ・項目が多い場合は別表を作成							
1日の排水量について、「日平均値」を通常量の欄に、「最も多い日量」を最大の欄に記載								
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大	通常	最大	
		100	130	50	70			
その他参考となるべき事項		排水口No. 1は、浄化槽排水のみ排出するときがある。最大濃度はその状態を考慮したもの。						

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

設置前後等で変更があるときは「変更前」「変更後」で用紙を分ける。

「変更なし」

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

排水口 No.	特定排水区分コード	業種その他の区分		汚染状態 (mg/L)		指定項目の別					化学的酸素要求量		※
						水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		ガイドライン区分	産業分類	通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常	最大	
1	ア	202	ア	2446	15	20	15	20		20		0.225	0.30
1	ア	202	ア	2446	15	20	65	80		80		0.975	1.20
1	エ	232	オ		40	60	20	30		30		0.80	1.20
2	エ	222	1		30	40	50	70		70		1.50	2.10

- (1) 「排水水」・「特定排水水」：特定排水水（生活排水を含む。）については「特定排水水」の欄に、関節冷却水等のその他の排水水は「特定排水水以外の排水水」の欄に記載
- (2) 排水口：別紙 4 に記載した排水口番号を記載
- (3) 特定排水区分コード、ガイドライン区分：「第 7 次水質総量規制関係資料」を参照又は尼崎市環境保全課までお問い合わせください。
- (4) 産業分類：総務省告示の産業分類を記載
- (5) 汚染状態：同じ排水処理施設で処理している場合、業種全て同じ濃度（処理後濃度）としてください。
- (6) 水量：最大欄に最大水量を記入し、特定排水水については、Q_{co}、Q_{ci}、Q_{cj} も記載。特定排水区分コードと Q_{co}、Q_{ci}、Q_{cj} 欄の関係については「第 8 次水質総量規制関係資料」を参照又は尼崎市環境保全課までお問い合わせください。

排水口 No.	特定排水区分コード	種類及び用途		汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		合計							

☆：変更分
★：追加分

汚濁負荷量の計算式

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 ※印の欄には記載しないこと。
 - 3 汚濁負荷量(最大) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(最大) (m³/日) ÷ 1000
汚濁負荷量(通常) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(通常) (m³/日) ÷ 1000 です。
- お願い：変更があるときは変更前後で用紙を分けて下さい。また、どの部分を変更するか（変更したか）分かるように、★、☆印等を記入してください。
その場合、その他参考事項欄に「☆印：変更部分」、「★印：追加分」等と書いてください。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

「変更なし」

		指定項目の別								窒素含有量		※
排水口 No.	特定排水区分コード	業種その他の区分		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)				汚濁負荷量 (kg/日)		
		ガイトライン区分	産 業 分 類	通常	最大	通常	最大	Qno	Qni	通常	最大	
1	1	202	2446	9	20	15	20	20		0.14	0.18	
1	1	202	2446	9	20	65	80	80		0.59	0.72	
1	4	232	オ	40	60	20	30	30		0.80	1.20	
2	4	232	ア	40	60	50	70	70		2.0	2.8	
		合 計		/	/	150	200	200	0	3.53	4.90	
特定排水水以外の排水水		種類及び用途		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		/		
				通常	最大	通常	最大	通常	最大			
		合 計		/	/							
なるべき事項	☆：変更分 ★：追加分											

備考 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 2 ※印の欄には記載しないこと。
 3 汚濁負荷量(最大) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(最大) (m³/日) ÷ 1000
 汚濁負荷量(通常) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(通常) (m³/日) ÷ 1000 です。
 お願い：変更があるときは変更前後で用紙を分けて下さい。また、どの部分を変更するか(変更したか)分かるように、
 ★、☆印等を記入してください。
 その場合、その他参考事項欄に「☆印：変更部分」、「★印：追加分」等と書いてください。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

「変更なし」

				指定項目の別						りん含有量		※
排水口 No.	特定排水区分コード	業種その他の区分		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)				汚濁負荷量 (kg/日)		
		ガイトライン区分	産 業 類	通常	最大	通常	最大	Qpo	Qpi	通常	最大	
1	1	202	2466	0.6	1.4	15	20	20		0.009	0.012	
1	1	202	2466	0.6	1.4	65	80	80		0.039	0.048	
1	4	232	オ	4	6	20	30	30		0.08	0.12	
2	4	232	ア	4	6	50	70	70		0.2	0.28	
		合 計				150	200	200	0	0.328	0.460	
特定排水水以外の排水水		種類及び用途		汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		/		
				通常	最大	通常	最大	通常	最大			
		合 計										
なるべき事項	☆：変更分 ★：追加分											

備考 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。

2 ※印の欄には記載しないこと。

3 汚濁負荷量(最大) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(最大) (m³/日) ÷ 1000

汚濁負荷量(通常) = 汚染状態(通常) (mg/L) × 水量(通常) (m³/日) ÷ 1000 です。

お願い：変更があるときは変更前後で用紙を分けて下さい。また、どの部分を変更するか（変更したか）分かるように、

★、☆印等を記入してください。

その場合、その他参考事項欄に「☆印：変更部分」、「★印：追加分」等と書いてください。

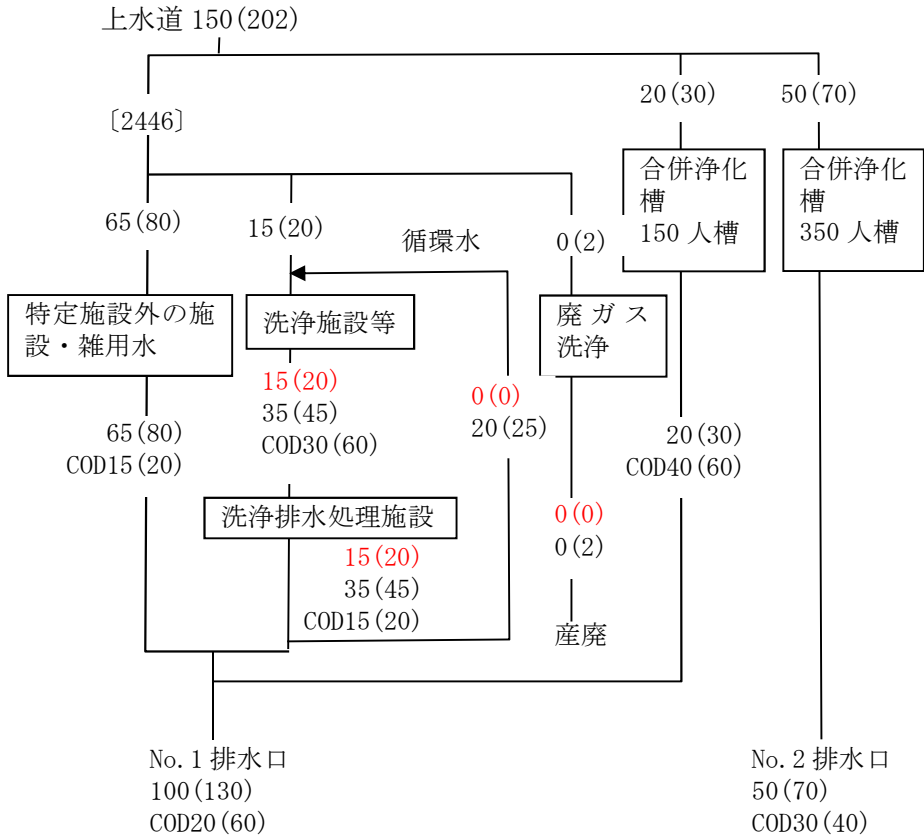
用水及び排水の収支を記載

用水及び排水の系統

設置前後で変わりのない場合は、「変更なし」と記載

上段：変更前
下段：変更後

※記載する内容が多くなる時は別葉に記載してください。



[] 内の数字は産業分類

他の COD 以外の数値は通常水量(最大水量) m³/日、COD は mg/L

用水及び排水の系統

業種等の区分毎に記載

用途別
用水使用量

用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
洗浄用水	上水道	80
生活用水	上水道	70
合計	—	150

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	No. 2、No. 3	No. 4
特定施設番号及び名称	63号ホ 廃ガス洗浄施設	65号 酸又はアルカリによる表面処理施設
設備	地上配管×1 排水構×1 ためます×1	地上配管×1 フランジ×1 ポンプ×1 防液堤
構造	地上配管：ステンレス製 側溝、ためます：コンクリート+樹脂コーティング (構造図：別図3-2のとおり)	地上配管：塩化ビニル製 フランジ：塩化ビニル製 ポンプ：鋼製+樹脂コーティング 防液堤：コンクリート+樹脂コーティング (構造図：別図4-2のとおり)
主要寸法	地上配管：直径○mm×○m 側溝：L○×W○×H○mm ためます：L○×W○×H○mm (構造図：別図3-2のとおり)	配管(地上)：直径○mm×○m ポンプ：L○mm×W○mm×H○mm 防液堤：L○m×W○m×H○m (構造図：別図4-2のとおり)
配置	工場棟 1階 (配置は別図2-1のとおり)	工場棟 1階 (配置は別図2-1のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	許可後	許可後
工事完成予定年月日	着手後 3月	着手後 3月
使用開始予定年月日	完成後	完成後
その他参考となるべき事項		

施設に付帯する配管、ポンプ、排水溝、ためます等の設備名及び数量を記載

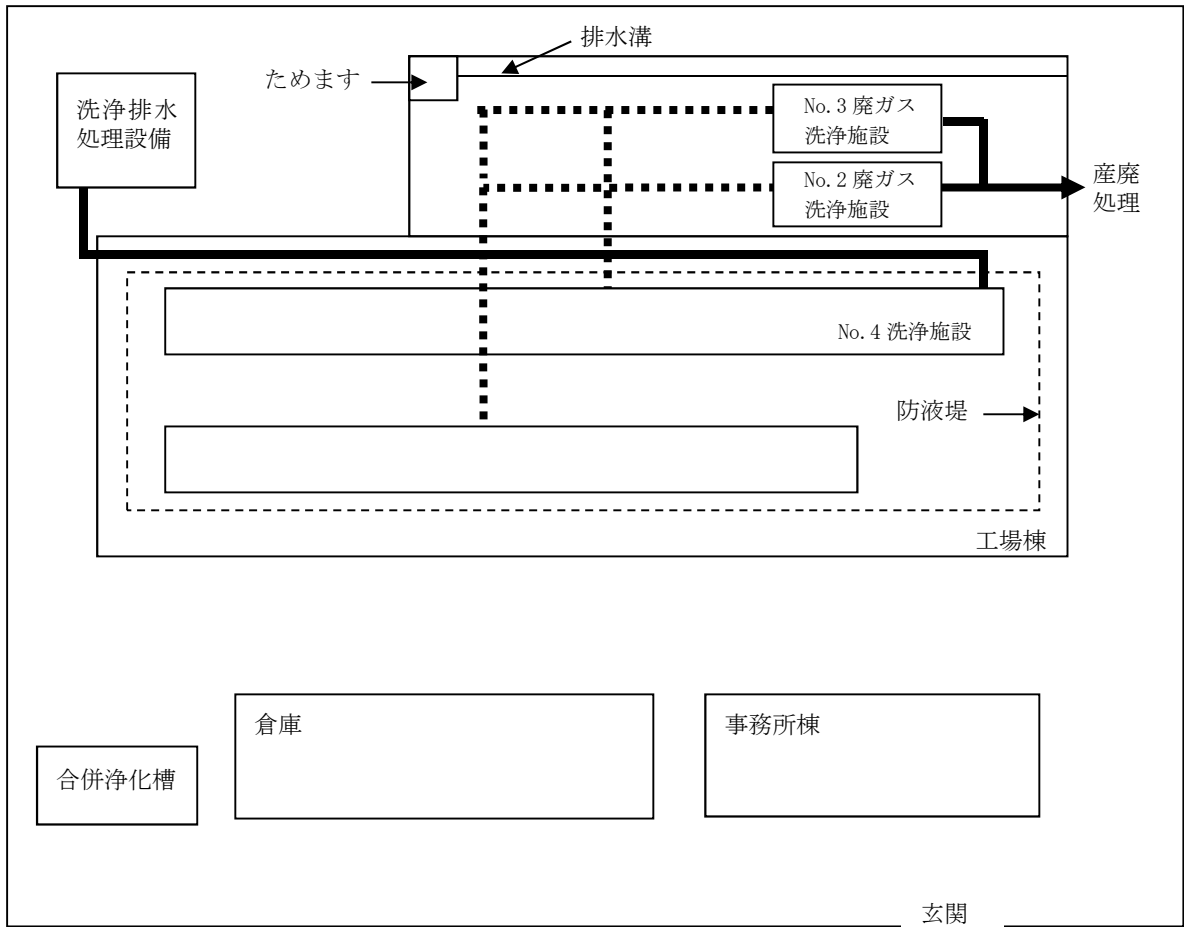
設備欄に記載した設備の材質を記載。検知設備を有する場合も記載、構造図面を添付

設備のうち、主なものについて寸法を記載

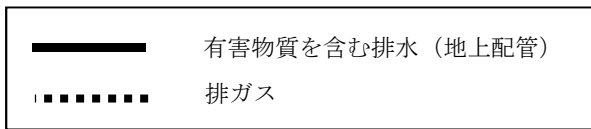
設備が設置されている建物の名称や位置等を記載、設備位置が判る図面を添付

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

届出対象施設が有害物質使用特定施設ではない場合、別紙7を省略することができる。



〇〇株式会社△△事業所 平面図



この図面は、別紙7の添付図面の例です。
既存の図面に、必要箇所を追記したものでも構いません。